

「神戸つ子」

横尾忠則
え・津高和一



この隨想のテーマ通りに従えば、神戸と東京を

対比しながら何かを語らなければならないのだ
が、もしかしたら私にはその資格がないかも知れ
ない。というのも、実は神戸での在住期間はわず
か三年余りで、しかも八年も前のことだ。

同じ土地の今昔を語るのならざ知らず、八年
前、つまり一九五九年の神戸と、一九六七年の東
京を比較するには、時間の落差に矛盾がありすぎ
る。それでも原稿を引き受けてしまった以上、し
かも〆切も大幅に過ぎた今となつては、断るわけ
にもいかず、どうしたものかと頭を悩ませながら

この原稿を書いている。

ここまで書いて私は、ふと大変重要なことを忘
れているのに気づいた。その途端八年間の空白が
一気にぬりつぶされるほど、神戸の存在が私の深
奥に大きく横たわっていることを発見して驚いた
上京して八年経った今でも東京弁がまともに話
せないのも実は、このことが原因だ。それは十年
前、神戸で知り合つて結婚した現在の妻のためで
ある。もし神戸で結婚していなければ、この原稿
も書かずにすんだかも知れない。

生粋の神戸つ子である妻も、関西弁がまつたく

直らない。直そうとしないのだ。彼女は自分が神戸っ子であるという誇りと尊厳を持って いるのだ。それが証拠に一日一回は必ず彼女の口から神戸の話が出る。それも東京に対するあらゆる不満が彼女を故郷神戸へと回帰させて行くのだ。話の内容はきまつて神戸の自慢話ばかりだ。

二十年近く西脇市に住んでいて初めて初めて神戸に出て来た時、すべてにおいて田舎者の私にはこのエキゾチックな街がまるで外国のように見えた。この横文字のよく似合うK O B Eは一ヵ月たらずで私の精神構造まで変革せんばかりの鮮烈な都会の香りで私を酔わせた。それは一種、神祕的でさえ歎びのようだ。神戸とはそんな街である。

六甲の山並から海岸へのなだらかな傾斜は女性の肉体の起伏のように、また、海岸線は女性の曲線のシルエットのようであらわる。海から吹き寄せる潮風の匂いは時には女性の柔らかな汗の香りのようだ。つまり神戸は女性である。

もし私が神戸体験がなければ、現在、決定的に別の方向に行ってしまったないと考へても過言でないと思う。現在の私の仕事の重要なテーマとなっている「性」も、全て神戸時代の具現化されたものかも知れない。

十九才で神戸に来た私は、あまりにも、田舎らしい自分が惨めで、例えようのない屈辱感に、私は深いコンプレックスの傷口の血を止めるすべも知らなかつた。この都会コンプレックスは、逆にますます私を仕事（グラフィックデザイン）の虫

にしてしまつた。毎日会社（神戸新聞社）が退けると、真直ぐ下宿に直行。今から思うとこの頃は本当によく勉強したものだ。数少ないデザイン雑誌は、表紙も取れてボロボロになるまで眺めたものだ。このガリ勉が効果を上げ、仕事に自信のついた私は、コンプレックスの挫折から救われた。

その時の私には、神戸はあるで、袋小路に追い込まれた鼠のように見えた。私は狂喜した。そして私は神戸にいどんだ。私は興奮した。私は神戸の全てを私のものにしたかった。その頃、私は次々と大恋愛をした。これらの恋愛を通じて私の仕事の発想の領域がますます拡大していくのがわかつた。私はいい知れぬ官能の幸福感で狂気のように神戸におぼれるように対決していった。神戸は私を受け入れた。やがて神戸は私のすべてになってしまった。しかし、こうして征服した神戸は、私の前から色あせて行くような気がした。私は正式に結婚して妻と上京した。

現在、私は人からよく聞かれる。「あなたの出身地は?」と、私はすかさず「神戸」ときまつて答える。今でも私の中には神戸は連綿と生きている。

私は生粋の神戸っ子以上に神戸を私のものにしてしまった自信と勇氣で、東京に立ち向かっている。私は多分、一生東京に住むことになるだろう。しかし、いくら努力しても江戸っ子にはならないのだ。もし許されるならば、私を「神戸っ子」と呼ばせてもらえるならば、こんなに嬉しいことはない。

神戸——東京

古林喜樂

東京でイレブンPMを見ていた私の息子が、ビルをのんでいる私の元気なテレビ姿を見て、「先ずは安心した」という便りをよこした。おやじの悦に入った神戸でのなまの姿が、ぶつつけに東京で見られるのであるから、東京も近くなったものである。しかしそうはいうものの、それを見て先ずは安心したというところに、やっぱりまだ東京の遠さが残っている。

むかし東海道の五十三次を、テクテク歩いていたころは、恐らく神戸から東京まで、五日ぐらいはかかったであろう。今は「ひかり」で三時間あまりになった。五日は百二十時間だから、四十分の一にまで短縮されたというわけである。徳川家康がもしも今、参勤交代制をころみたとしたら大名たちが日帰りをしてしまうので、こりやいかんということになつたであろう。

この頃アメリカでは距離を時間で表現する。お宿から近いですからあとでビールをのみにいらつしゃいと誘われて、さて暮夜ひそかに訪れようか

と思つたら、車で五分しかからないの意であつた。五分で行けるのだから近いという感じなのであろうが、百キロ以上のスピードでとばす五分の距離といえば、なんと二里以上も離れている、はるかの彼方なのである。そのうちお月さんへまで五日で行けるようなことにでもなつたら、地球と月とのへだたりが、江戸時代の神戸と東京のそれぐらいということになる。まさに月とスッポンとのへだたりが、今や崩壊過程にあるといえそうだ。もうかれこれ一昔のまえ、特急こだまがデビューワークしたとき、一番乗りした私は、ビュフェにとびこんで、文字通りのスタンド（とまり木もなかつた）で、ビールの立ちのみをしてから、じ来これが病みつきになってしまった。新幹線になつてからも、座席の番号なんかありむきもしないで、五号車か九号車の方へ、足がひとりでに向いてゆく。ところが今はたつた三時間なので、一寸よい気持になりかけたころに、横浜あたりにきてしまふ。立つたまま七時間で、十分たん能することの

できた、昔の特急が懐しいと思うことが時々ある。ビールをとつくり味わういとまもないほど近くに、東京がよってきた。この頃東京での会議は、ときどき主催者が気を利かして、開会を十時半にしてくれる。神戸からの通い時間を配慮してくれているらしい。これでは出張も、通勤に変りつつあるというわけである。さもありなん、聞くところによると、神戸が東京へ進出して、おしゃれフェアを催すとか、神戸タウンをつくるとか、その他あれこれで神戸が出張ってゆくらしい。ところが、東京の方は、これを歓迎しているというのであるから、東京と神戸とはどこか肌合いの合うところがあるらしい。そういうれば逆に東京のローゼン・ケラーなんかは、神戸にこそあるべき存在である。ここはドイツのビア・ホールのふん団氣をちょっぴり味わってくれる。ビールが日本のビールというだけで、ショッキからテーブル・クロスにいたるまで、ドイツのそのままのものであり、ドイツ人の可愛らしい娘さんが、「ハロー・ヴィ・ゲーツ・イーネン（英語のハウ・ドゥ・ユー・ドゥ）」とよびかけて、サービスにきてくれると、その途端に、心はドイツへとふ。やがてビア・ホールでのなつかしのメロディがはじまり出すと、思わず左右の者と腕をくんで、揺れださざるを得ないようなギュートリッヒなロカールである。大衆的なところではもう一軒、ゲルマニヤというのがある。先だってもここで、ビール党のドイツ人と意気投合し、ジョッキをぶつけ合つては、腕をくんで合唱をした。

神戸で夜更けの十時ごろに、わが家へ電話がか

かってきた。ドイツ人から一寸出てきませんかといふらいいである。ベラペラとドイツ語でまくしてたててくるので、さてだれかな?と思ひめぐらしがよさそうだ。東京と関西とで隔日交互に編成されているイレブンPMで、どうやら関西側の方が受けているらしいが、さきごろ神戸つ子主催の「神戸つ子酒祭り」にいたっては、全く圧巻であつたらしい。私自身あのあと東京で会う人ごとにひやかされて、テレビの偉力に、今更ながら驚いたようなことであった。

灘の生一本といつても、灘五郷の大半が神戸市に入ってしまった。今日では、神戸の生一本といふところである。スマートなおしゃれ、尖端的なよそおいの点では、江戸つ子の方が、おのぼりさんだという人もある。材料が新鮮なだけに今にぎりも神戸、肉は言わずもがな、輕井沢に匹敵する六甲山頂へ三十分、トンネルをくぐって天下の有馬温泉へ三十分、こうなつてくると、時間的に東京が神戸へ接近してくるにつれて、スマッグと騒音のなかにあえいでいる江戸つ子も、浮き足がたちはじめるということにならぬとも限らない。

流行をはこぶ
ロンジン

特約店

美田時計店

元町店・元町三丁目 TEL 33-1793
三宮店・さんちかファンジー・タウン TEL 33-8798

楽しい夢のある
ショッピングを！

トア・ロード店が新装開店…
国産・舶来アクセサリー
センスある品々
ニュー・モードがいっぱいです
ぜひお立寄り下さい。

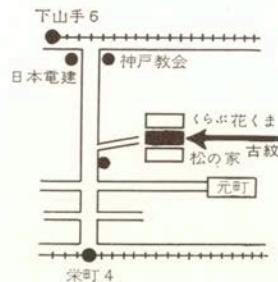
コスチュームアクセサリーの店
芸 げいむ 夢

神戸店／トアロード 33-8643・2293
大阪店／心斎橋ロビー (211) 5153・1044
心斎橋名店街(小大丸ビル) 211-8503

割烹「古紋」は神戸・花隈に
新しく生れたカウンター形式の日本料理のお店です。
お気軽に季節料理を味わって
いただける楽しい雰囲気。
ぜひ一度おこし下さいませ。



神戸市生田区花隈町45
でんわ ④ 0240



現在このお店を手伝って下さる可愛い
お嬢さんを募集しております。
<お手伝いの時間はPM4.00～12.00まで>



おいしがき

お 料 理

古紋弁当	400円より
おまかせ	1,800円より
古紋コロッケ	300円
古紋湯豆腐	500円
季節一品料理	300円より

お 飲 物

日本酒(特級)	200円
ビール	100円より

古紋のお料理はきめこまやかな風趣と格調たかい
味覚。気軽なお値段で人気を集めています。

世界にのびる貿易港に

村上 正一郎（神栄生糸株式会社社長）

柏井 健一（柏井紙業株式会社社長）

岡崎 真雄

（同和火災海上保険株式会社取締役）

★船場出身の神戸っ子

柏井 村上さんは神戸でお生まれになつたのですか。

村上 いえ、ちがうんですよ。私は先祖代々大阪船場の

生まれです。四百年以上、大阪船場の御堂筋に家があり

呉服商をやつていて、私で十四代目になるんです。豊臣

秀吉が大阪城を作っている時分から村上家はずっと続い

ているんですよ。私は長男ですが、商売を継がずに神戸

っ子になつたのが大正十五年、京都大学を卒業して入社

したときがはじめなんですね。それ以来四十二年間、私もも

う六十をすぎましたから私の人生の三分の二ぐらいが神

戸っ子といえます。だから第一の故郷よりも古いで

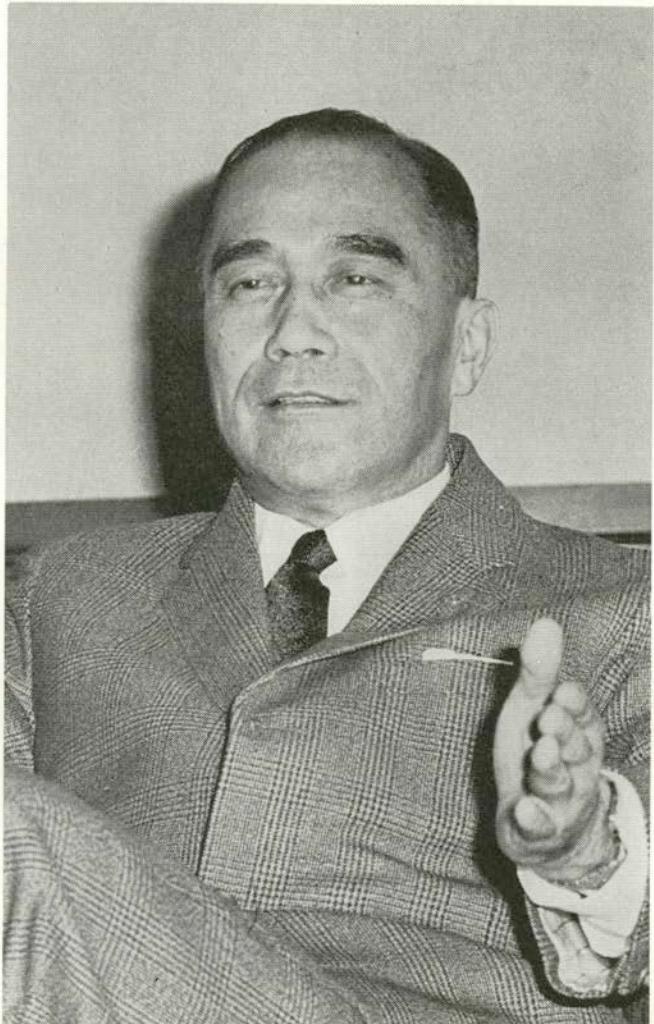
柏井 それでは事実上の神戸っ子ですね（笑）。

岡崎 実家が織物関係ということで、神栄生糸の前身に

お入りになつたんですね。

村上 そうです。まあ別に親戚関係でもなんでもなかつ

写真は 村上 正二郎氏



たのですが当時の社長は岡崎藤吉さんでした。専務が勝山さん。この人は郵船会社の神戸支店長でしたね。海運の労働紛争のあったとき、陸員の側に立って部下を擁護したんです。それで郵船会社をやめていたところを岡崎藤吉さんが船関係でよくご存知だったのです。どうかということで専務に就任されたんですね。

か。 柏井 そのころの生糸市場の中心は横浜たつたんですね

神戸ももう中心になつていましたね。つまり関東大震災以後、政府は二港主義をとつたのです。関東大震災

災で横浜港がつぶれて、生糸がストップして海外へ出なくなつたので、国内では生糸は暴落するし、アメリカで

は日本の生糸がこないというので暴騰したんですよ。そこで神戸港からちはやく出したのが朝日シルクです。

それで他の輸出商は皆、ぐずぐずしていたら朝日シルク
ニシハナガ、一矢を報つてゐるうので、申すが如く

輸出するようになつたのです。

ごろからですか。

でなく輸出をするから、一年間勉強しろといわれて、誰も

結果者にいたいれど、前章獨てやれといわれまして、ね。最初の一年間にその当時の金でだいぶもうけたんですね。

すよ。それから約十五年間、戦争がはじまるまで、その間四年ほどニューヨーク支店にいましたが、帰つてから

戦争になりそうにならなかったのでニコロヨーロッパ支店を閉鎖しました。資産凍結令というものが一週間先に出るという入

電があつたので一週間の間にそのとき生糸が三百俵ほどありましたかね。当時の金にして二〇〇万ドルほどあつ

たんですよ。それで、一僕残らず現金で売つてしまえと命令を出したんですよ。利子を出してもいいからすべてを前払いできヤッショにしてもらえといいましてね。

岡嶋　当時の金で一千円ばかりですが、一ドル二円くらいですかね。今の金にしたら何十億になりますね。

村上 むこうで当時、生糸業者は八軒しかなかつたのですが、ほかのところはえらくおさえられたんですよ。ア

メリカ人が生糸の商売では日本人の商社に負けてしまつたわけです。八軒のうち、帰ってきたのは一軒だけ、あとは十二月八日の開戦後、支店長以下、男女別々に一年半、金アミ生活をしたんですよ。まあ、うちも一年といえども損せず、どうにか相場をうまいこと泳いだんでですよ。

柏井 生糸商としては日本ではトップクラスですね。
村上 まあ、古いことと問屋としてはね。

岡崎 横浜にも問屋があつたんですか。

ぶれましたね。相場の変動のはげしい商品ですからそ
長続きしないんですよ。ふふ、もうまへ十年こよのう

すね。明治二十二年からですか

卷之三

ですか。

木上 そうですね、どこででもそうだし、これがみんなの会社はよく金がいるんです。それで、まず工場の設備を第一

とや、木造を不燃性の工場に変えたりしていたんですね。

が、一応出来ましたので、今度は、本社造りにかかるた
けです。そしてその次には商業部門を大いにやらない

岡崎 最近、生糸の内地需要がたかまつてきているとい
うけれども、まだそりゃう時機になりまし
たね。

村上 現在はきものブームでね。今年の成人式がピーク
うお話ですが。

でしたね。それに結婚ブームをくわえて絹織物はブームです。

柏井 日本の着物は高いと思うのですが。



上は柏井健一氏・下は岡崎真雄氏



う人が多いですかね（笑）それと着物はやはり芸術品ですから、女性の、美を愛する気持はなんといつても男性以上ですかね。

柏井 持つだけで満足するわけですね。

村上 それでうちももうかる（爆笑）わけです。

岡崎 これは今の時代の先端をいく風潮ですかね。

村上 そうですね。第一、女性がきれいにならなければその国は繁栄しないんですよ。ソビエトの女性が最近きれいになりましたでしょ。女性をきれいにするのはなんといつても男性ですよ。

柏井 そこで勤労意欲がわいてくるというわけです。
(笑)

★先輩諸氏のご苦労に感謝

岡崎 八十年も相場でご損もせずに、たいへんよくやられたと思いますが、特に気をつけられた点はありますか。

村上 生糸問屋というのは相場の波にのらんとだめですなあ。毎日の相場の波をよくみてるとあまり欲を出さなかつたら割によく当たるんですよ。あがり出したらことんまであるし、さがり出したらことんまでさがるんですね。そういう商品ですからね。はじめての人はえらくむつかしいだろうと思われるでしょが、長年もまれてくるとそんなにえらいもんではありません。昔はね。輸出商へ売るでしょ。売って相場がさがると品質が悪いというのでキャンセルするんですよ。当時はべ

ケといつてましたんですがね。相場があがると少々悪くとも、取るんですよ。そこで品質で文句が言えんように生糸検査機を作ったんです。

柏井 神戸の生糸検査場はいつ出来たんですかね。

村上 あれはね。大正十二年、神戸で輸出ができるようになってまもなくですね。私のところが輸出をはじめてすぐでしたね。あれははじめ市で作ったでしょう。それを国へ寄附して国立にしてもらつたんですよ。あれを作ったのは滝川儀作さんが骨を折られたんです。の方は岡崎さんなんかと同じような考え方で関東大震災で二港主義になつたとき、この機会に神戸の生糸市場というのを考え、検査場も市で作れということになつたんです。取引所にしても皆、先輩がやってくれたんですよ。だから大事にしないといけないんですよ。

柏井 地元の商社というのは兼松さんも神戸からスターとして本社が神戸にあるのですが。

村上 同じ金を使つたら人はなぜ大阪や東京に本社を置かないんだといいますかね。私は大阪の生まれだけれども、先祖が神戸にある私の会社としては、神戸でひとつ、大いに仕事をしようと、輸出については雑品からいろいろなものをやつしているんですわ。大阪にはメーカーは多いですけれど何も大阪に行かないでも、電話でも直通だし、行くのにも二十五分もあれば行けるんだから、阪神都市ですよ。大阪にいないとできないという

のはおかしいですよ。それに場合によつてはむこうから来てくれますし、売込みにくる人はきてくれますよ。勿論大阪にも足だまりはあるんですよ。でも人間をむこうに重点を置くと結局費用がたくさんかかるんですよ。そういうわけで神戸の貿易商社として、腰を落ちつけてやろうということで、このビルを神戸に建てたんですよ。

岡崎 そういう意味では神栄さんだけということになりましたね。

村上 そうですね。そういう形は少ないかも知れません。

柏井 神戸としては非常にありがたいことで、神戸を起

点にした企業というのは確かに出てきていますから、神戸の貿易界にとつては神栄さんがおられるところで非常に重みを増しますものね。

村上 私のところも横浜や東京にも支店はあるんですけどやはり、神戸を重点的にのびるだけのはしてみようとしたわけですよ。

★躍進のための神戸記念祭に

柏井 今までのお話では神戸の移りかわりについても出ましたが、開港百年祭について……。

村上 明治元年一月一日に神戸港が開港されたと私は聞いているんですが、百年祭だということは大いにお祝いしないといけませんね。私のところが、二十年の創立でしょ。こんないとき八十年祭がおこなわれるというのはぐあいがよろしいですよ。先祖に感謝していますよ（笑）

柏井 何年祭何年祭というのはどうでもいいようです。会社としてはひとつ節として、過去をふり返つたり将来を考えるのにはやはり必要なんでしょう。

村上 私もね、こういう八十周年にあたるときに、社員の気持をしっかりとひきしめておかない将来のびないので、こういう機会に式典をやると同時に、うちの会社にはこういう古い歴史があるんだ、この歴史をどんどんのばしていかないといけないという責任を感じさせたい

と思います。最近の労使関係はむつかしい面がありますが、双方でゆずりあつて両方が巣えないよね。会社が巣えないで労働組合が巣えるはずはありませんしね。また労働組合の従業員のことを考えないで会社をよくしてもこれはうまくいくはずはありませんからね。双方が協調しあつて、ともに繁栄していくなければなりませんね。そういう気持を持ってやらねばなりません。幸い、うちは今だかつて争議を起こしたことがないんですよ。

柏井 先程もお話を出ましたが、神戸の将来をどうするかということについていかがですか？

村上 神戸は地盤沈下だといわれていますが、これからは絶対心配ありませんよ。大阪は飽和状態ですからこれからは西の方に広がつてくるんですよ。ことに神戸の西の方では工業地帯がどんどんできていますからね。これで夢のかけ橋ができると四国のものがどんどん神戸につまつきますよ。神戸港は、天然の良港ですからね。

大阪がいくらまねをしようとも、海底をさらえてみたってダメですよ。神戸が荷物を扱つていく運命にあるから、これから神戸は増え続けていくと思っているんですけどね。

岡崎 戦前戦中の外人商社は、他所へ移つていきましたが、皆、神戸へもどつてきていますね。印度人の商社も神戸へとどんどん増えていますね。インド人の商社も神戸へとどまっていますよ。

村上 心配しないでも神戸の地盤はこれからあがつてくるのとちがいますか。大阪港や名古屋港には船員が行かないそうですよ。神戸港にはよろこんでくるらしいけれど、やっぱり船を受け入れる条件がよろしいんでしょうね。神さまから与えられた港ですからね。神の港と書くでしよう（笑）こんな港は人工で出来ませんよ。神戸港は神戸に与えられた財産ですからね。六甲山もしかり。うしろに六甲山を持つて太陽の光線がいっぱいの神戸へ人があつまつてこないはずがありませんよ。そういう意味で会社も大阪へは行かないで、神戸で必ず今以上に発展しようと思つてゐるんですよ。

経済ポケット

ジャーナル



るからで、事態をよく見直してもらよう。政府の啓蒙をしながら、まず自らの手で業界の協調などを考え直す」と語った。造船工業会会長の任期二年間ぐらいいふん死の病人にカンフル剤がほしい」と言つて、「日本の王座」を持ちこたえられる「かどうか、砂野さんはひん死の病人にカンフル剤がほしい」といふ。

★見本市船「さくら丸」

米、カナダ両国へ

巡航見本市船「さくら丸」

(一、六一、六一、総) がア

メリカ、カナダ両国へ向か

つた。同船は両国の九港で

三十五日間見本市を開き、十

八月三十日東京へ帰る百十

九日の巡航。

航。ニューヨーク

はじめ万

国博覧会

モントリ

オールや

神戸港と

見本市船「さくら丸」



見本市船「さくら丸」

つていて。四十五年の日本万国博の会場模型が陳列され、兵庫・神戸コーナーも二小間ずつ設けてあり木珠のれん、つり針、ビーズ、バングなど二百点の高級雑貨が出品されている。

★砂野仁氏が日本造

船工業会の会長に

川崎重工業社長の砂野仁

氏が日本造船工業会会長になつた。会長就任が内定し

ても「言いたいことはたく

さんあるが、ならん前には

言えん。だいいちウレシげ

でいかん」と抱負を語らな

かつた砂野さん。「最近、会

社の仕事をやればやがて

自分本体の仕事にはねかえ

つくると信じている。会長

が引き受けたからには精

いいっぱいやりります」とや

気じゅうぶん。「少々の國

家補助では、労働力不足の

今日、造船王国ニッポンの

王座維持はむずかしい。輸

出船の継ぎ融資率一〇%引

き下げも実情に合わない。

政府が造船振興に逆の方向

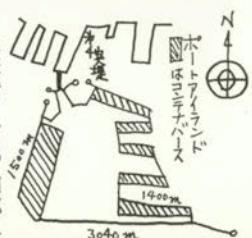
をとるのは政策に欠陥があ

KOBEオフィスレディ



水本栄子さん(23)
角南商事株式会社総務課勤務

ロシア文学を愛し、ラテン音楽を聞き、ピアノにむかう。散歩と詩を書くこと、そして車の運転と幅広い趣味をもつたひとである。入社して三年目。社長秘書の仕事をもつて、今がいちばん美しいころという。誠心誠意仕事を接したいと話してくれる素敵なお嬢さん。今年中にマネービルでもして車が買いたいという夢をもっている。鉄松家國家政科卒。



りあかぬけ、ビジネス色を強く打ち出したほか、事故防止のために一面床を張つて命尊重"にも気を配

ておもに東南ア、中近東、アフリカ中心に開催、こん

どが第七次。しかも相手が

アメリカ、カナダの大先進

国なのでデイスプレーにも

苦心している。

さくら丸の船内はすつき

強く打ち出したほか、事故

防止のため一面床を張つて命尊重"にも気を配

■技術ジャーナル

トンネルの話

諸岡 博熊

（神戸市調査室副主幹）

発してトンネルを掘つた。

この四月開通した六甲トンネル

は道路用のもので、閑門、笛子についてわが国で第三番目の長さ。

二、八四三尺である。他方、山陽

新幹線の六甲トンネルが実現した

ならば、シンプロン（一九〇六年）

二〇、〇三六尺、アベニン（一九

三一年）一八、六一八尺について、

世界で第三番目の一六、二八三尺

となる予定である。ちなみに、日本

最長の鉄道トンネルは、北陸ト

ンネルの一三、八五〇尺。

◇

道路トンネルには換気という大

問題がある。自然の換気の限界は

延長五〇〇尺といわれているから

これ以上のトンネルになると換気

装置が必要となる。そのわけは、

自動車の排気ガス中に含まれる一

酸化炭素と煤煙を取り除くためで

ある。さらに、先日の鈴鹿トンネ

ル事故に備えて、消防設備も必要

とされる。



トンネルはすでに紀元前、エジ

プトで王の墓の通路に利用され

た。バビロンではユーフラテス川

底に煉瓦巻きのトンネルが築造さ

れた。ローマ人は技術に秀れてい

たので岩石を火で熱し急冷しヒビ

割れを入れる方法や、石灰石や大

理石を醋酸で溶かす方法などを開

フランスのランゲドック運河

（一六八一年）のトンネル（一五

六尺）は火薬をトンネル掘削に利

用した最初である。

世界で始めて鉄道がマンチエス

ターリバブル間に開通した。

鉄道の一部にトンネルが使用され

鐵道トンネルのはしりとなった。

その後、鉄道が世界中に普及する

につれて必然的にトンネル掘削技

術は進歩していく。

モンセニー（一八七二年）の鉄

道トンネルは手掘りのため、一日

わずか二五秒しか進行しなかつ

た。が、技術の進歩につれて、削

岩機、空気圧縮機、ダイナマイド、

電気電管、ロータリーハンマーなど

一連のトンネル機器が開発されて

近代的工法が確立していく。

トンネル掘削技術の進歩は、鉄

道が普及したおかげである。



世界の長大トンネルはアルプス



の周辺に多い。これらの主なものは一九世紀末から二十世紀初めまでに築造されたものだ。アルプス以外の地では、イギリス、ニュージーランド、日本などの島国にトンネルが多くみられる。

日本の近代トンネルの始めは、

中央道の「恵那トンネル」延長

八、四五〇尺がある。——モンブ

ラン（伊・仏間）一一、六五一尺、

一九六五年）につぐ世界第二の自

動車用の長大トンネル——。

日本の近代トンネルの始めは、

明治三年に着工された石屋川鉄道

トンネル（六一尺）で、現在も使

用されている。これは、イギリス

人の技師が天井川を開削して水路

を切り換えて築造したもので跨線

水路方式の最初のものもある。

このトンネルは、東海道線の六

甲踏切除却にもなう灘高架工事

（灘・住吉駅間三、三キロ尺）のた

め、いよいよ姿を消すこととな

る。▲写真▽



1870 SINCE



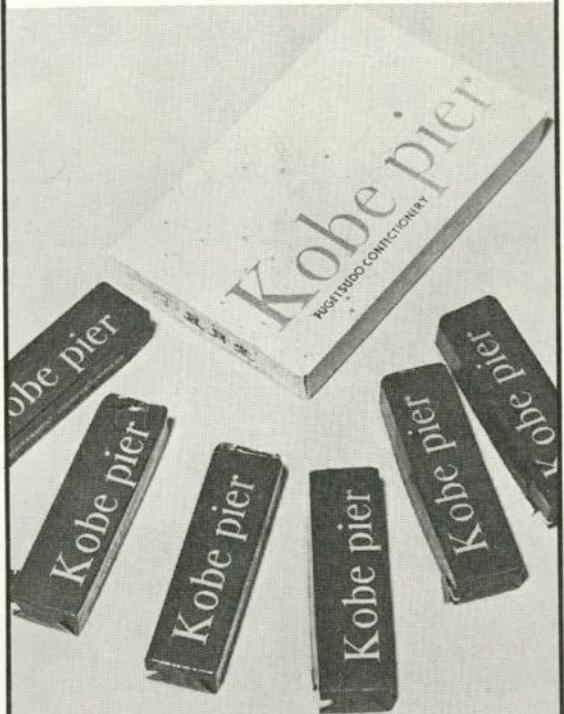
BERLIN
ORIGINAL PELO

日本販売元

元町バザー

神戸・元町1丁目 TEL (33) 1401・7031
東京・日本橋 白木屋 TEL (211) 0511代

突堤を型どったココアキャンデーTM
コウベピア



6本入 ¥100 18本入 ¥300 24本入 ¥500

神戸にそだって 70年



元町3丁目 TEL ⑧92412~5
さんちかスイーツタウン TEL ⑧93455

結納儀式用品



幸せな二人の
えにしを結ぶ
結納儀式用品

合資会社 * 創業 35 周年

遠藤福寿堂

東店=神戸市生田区トア・ロード高架上る TEL<39>1871~3

西店=神戸市長田区市電菅原東入る TEL<55>2251~3

兵庫縣
みよしや

大阪店 阪神百貨店 三階
電話 神戸 ⑬二三八八九九番
姫路店 やまとやしき百貨店 三階
電話 大阪 ⑬五五四八番
衣裳部 電話 姫路 ⑬一二二一一番
電話 ⑬五 一六五番

●パイオニア神戸



⑥

滝川辯三

有井 基

兵庫新田、現在の湊町四丁目あたりだったという。

辯三は嘉永四年（一八五二）長州藩番頭職の家に生まれた。五人兄弟の次男。幼時から小兵だったが、図抜けで頭が切れた。兄六郎も藩校で、のちの乃木希典將軍と双璧をなす秀才。その縁で辯三も乃木を生涯の親友とした。慶応四年、十五歳の辯三は兄と官軍の奥羽征討に参戦、兄六郎を失った。その年、年号は「明治」と改元。激動する新時代の幕明けである。

いわば「よごれ」の仕事であった。そこへ高級武士の辯三が飛びこんだ。滝川辨三。かれは明治十三年六月、数人の共同出資者を説いて、工場をつくった。湊川が埋め立てられ、いまの新開地になる前の、堤防西にあつた。

神戸でのマッチ業の起こりは、明治十年。記録では同年三月、辯某が下山手通りに工場を開いたとするが、詳細はわからない。同年、神戸監獄内でも、囚人労働としてマッチ製造を始めた。有毒で悪臭を放つこの仕事は、人にきらわれた。いきおい囚人からスタートさせる必要があつたようだ。だが、単純な手仕事である。新らしい開港場へ流れこんだ労務者の女房子供には、格好の内職だった。

た。語学力抜群で卒業も早く、七年、大阪梅田駅、八年、神戸三宮駅の電信係となつた。神戸と触れ合う機縁といえよう。

時流は激しく動いていた。産業界はわががらに、外国貿易を目指していた。目ざとい辯三が見過すはずがない。「よし、オレもやろう」—明治十二年、あっさり官を捨てた。電信技師は当時、エリートの職業だった。それを見切り、あえて「士農工商」の商に就こうというのだから、当然、決断が要つた。郷里の家財はもとより、武具から家伝の系図まで売り払い、わずかの資金をぎつて神戸へ出た。イギリス人経営のキンブル商会へ勤め、重宝がられたが、独立目的の辯三は一年で辞職。そしてマッチ製造業へ—。



大正初期のマッチ工場内風景

ネコもシャクシも舶来をありがたる。かれはそれを憂えた。輸入にたよりきつていては日本經濟の地盤も沈下するばかり。その点、新興産業のマッチは、外國製品を対抗できるところまで技術が進んでいた。救貧事業としても、うつてつけではないか、と考えた。事実、需要の伸びは急で、辯三の工場「清燃社」(せいすいしゃ)は、順調に生産高を伸ばした。

しかし、つまづきはある。西南戦争後のインフレで、共同出資者は全員手を引き、工場は辯三一人のものになった。同時期、もうかると見ると、にわかに同業者が乱立。ダンピング競争—品質低下—信用失墜—共倒れ、といふお決まりのコースをたどった。つい数年前まで性こりもなく繰り返された悪循環、中小零細企業群に特有の病魔である。相つぐ倒産を横目に、辯三は意地でも退けなかつた。急場しのぎにかれは、製品を輸出マッチから内地向けへ切り換えた。

背水の陣の辯三はアツシを着、ナワの帯をしめて奮闘した。妻の吉子も、長女豊子(のち滝川儀作夫人)を柳行李のふたに入れ、次女を背にあやしながら、女工さんにまじって立ち働いた。見栄も体裁もない。士族のメンツにこだわらず、武士の根性をつらぬいた。これが信用を呼び、信用が財をふやした。苦闘はむくわれたのである。

いいものは売れる。かれは一徹にそう考えた。かけ引きもケレン味もない。それだけに大抵な手が打てた。三十年、泉田文四郎経営の良燃社を十二万円で買収したとき、尾長マークの商標板に五万円の値をつけた。いかに清国市場で人気があるとはいっても、五万円の評価額は、世人をおどろかせるに十分だった。清燃社もすでに工場の拡張・増設を行ない、大変な勢い。同年、市内には四十五の製造業者があつたが、年間五千個(一個六百ダース入り)以上産出するのは辯三と播磨幸七、本多義知の三工場だけだった。

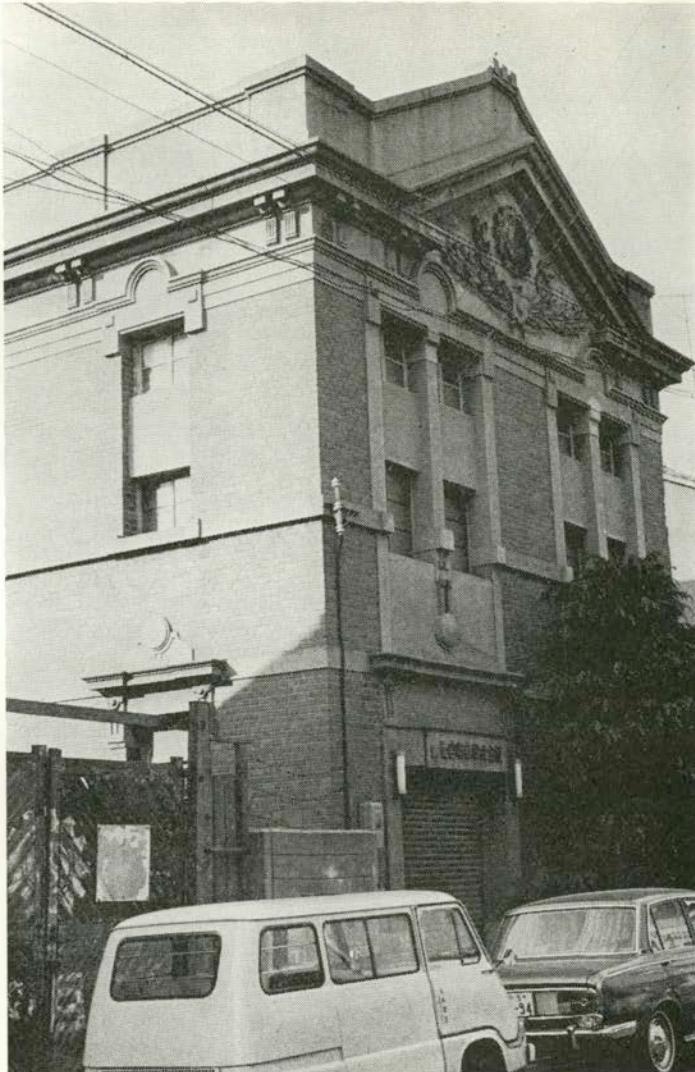
マッチ業者は、市内工場総数の六〇%を占め、生産高

は三百万円に達した。中でも清商麦少彭、呉錦堂と結んで東南アジア一帯に市場を占有した辯三は、業界の頂点に立ち、やがて「マッチ王」と呼ばれるに至る。三十一年には儀作を養嗣子に迎え、良燧社の經營をまかせて、父子でヨーロッパ、アメリカまで市場を拡大、最盛時には日本の総生産量の七〇一八〇%を独占した。

国内に敵なしの感あった辯三にも、こわい存在があつた。強大な外國資本である。明治三十八年、日本燐寸同業組合が設立され、組合長となつて事務所を神戸市海岸通二ノ一に置いたが、その春、アメリカの大資本ダイヤモンド社が日本市場をうかがう構えをみせた。国内専売権を譲ってくれるなら二百万円出そう、さもなければダイヤモンド社の専売権を買入れよ、という政府との直談判。国内の中・小・零細企業はふるえ上がつた。ちょうど日露戦争のさ中、政府とすれば二百万円に目がくらみかない。

この時、農商務省は業者を集めて全国マッチの合同をすすめ、対策委員長に辯三が互選された。なにしろ国内では安からう悪からうの粗製乱造、販売方法もバラバラで価格も不安定だ。おりもよしと業者の大半が合同に賛成し、マッチの専売権を握ろうとした。この動きに、ブレークをかけたのは辯三父子。専任委員長を辞任すると真っ向うから反対、ついに大合同も専売制も、流産させてしまつた。当然、変節漢呼ばわりされたが、かれは動じなかつた。

読みはこうだ。専売制にすると、必然的に価格は高騰する。高くなれば外國品と競争できない。そうなれば資本力のない日本のマッチ業界は破滅するほかない。この考えに同調者もあつたが、大合同に積極的だった大阪の業界は激怒し、分裂して行つた。それはまた神戸が大阪を完全に抑え、確固たる地歩を築きおえたことを意味しない。



辯三が創立したマッチ工場（兵庫区下沢通4丁目）

て世の役に立つことをしたい、と儀作に相談した。儀作は「即製の人間を養成する商業学校でなく、一般教養を身につける中学校か高等女学校を作つてはどうか。それが本当の実業教育ではないか」と答えた。当時、会下山にあつた私立兵庫中学校が経営難で廃校寸前にあり、兵庫県知事清野長太郎から儀作に、生徒を救つてやつてほしい、と依頼があつたからだ。

辯三は「も二もなく賛成した。かつて「熟練で忠実な良い職工を得るのは会社の永遠の利益である」と、工場で職工、女工に教育を試みたことがあった。女工に裁縫や普通教育を教えようとすると出席率がひどく落ちた。不時の出費に備えて貯金制度を設けると、貯金の全部をくれぬと不平が出た。夜学へ通わせようとしても出席率が悪い一結局、なにも続かなかつたが、医療、厚生面で行きとどいた待遇を示した。それが今度は、本格的な教育なのだ。大正七年一月、兵庫中学校は、滝川家に引きとられた。

辯三は板宿に学校を移し、校舎を私費で新築して、滝川中学校と改名した。現在の滝川高校である。かれは同年、第一線を退き、同十四年に七十五歳で死ぬまで、滝川中の經營にあたつた。その引退と、あたかも符号を合わせたようにマッチ業は衰退。やがてスウェーデン・マッチの資本力に圧倒され、昭和七年には、筆頭株主だった大同マッチから追い出される。だが、辯三の意思を完全に受け継いだ儀作は、その後も経済界の要職を歴任。日中親善、育英事業に幅広く活躍したことは、もはや説明の要もないだろう。

(神戸新聞記者)



今はタクシー会社のガレージになっている旧マッチ工場(兵庫区下沢通四丁目)

明治四十三年二月、辯三は神戸商業会議所会頭に選ばれた。かれは観光団を組織して清国実業界を視察、提携の糸口を開いた。清朝末期。辛亥革命の前年である。風雲急を告げる大陸へ、親善旅行をする。これは一つの卓見だし、中国との友好親善は儀作にも受けつがれ、滝川家の伝統的役割りともなつていて。そしてもう一つ。晩年の辯三は一粒の種をまいた。育英事業である。

大正になって数年、辯三はすでにマッチの限界を見通していた。すべてを儀作の手にゆだね、自らはマッチを始めいつさいの公職から引退を決意、その記念事業とし

ご贈答に



瓦せんべい クリームパピヨン

市内地方配達承ります

亀の井 亀井堂本家

神戸三宮トア・ロード電話 本店33-0001
南店33-1616

ハワイをかけよう……

ロイヤル

ROYAL
HAWAIIAN
GLASS

ハワイアン

ウエーブス

流行中
只今
神戸で
生れ
る
ハワイ
キビーチ
で



発表即売中

神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎333112~3
三宮店・さんちかタウン ☎391874~5

エレガントなご進物・ご家庭用に
マドレーヌ



10ヶ詰￥ 500

北欧の銘菓
ユーハイム
コンフェクト

本社・工場／神戸熊内町1丁目 TEL 22-1164・9865
熊内店／(市立美術館東隣)

三宮店／神戸三宮生田筋(階上喫茶室) TEL 33-7343・0156・4314
神戸デパート店／長田区大橋5丁目・甲子園店／国鉄甲子園口駅(北口)・芦屋店／国鉄芦屋駅前通・堂島営業所／大阪堂島中町ビル地階
梅田店／大阪梅田地下センター・榮町店／名古屋栄町地階・千ビル種工場／名古屋千種区若水町・大丸店／神戸・京都・阪急店／神戸大阪・三越店／神戸・丸善店／名古屋・オリエンタル中村／名古屋大阪国際空港・神戸鉄道弘済会・丸物店／豊橋・松菴店／津・姫路駅デパート・明石ステーションビル



O-SHIBATA
柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

たバラは、私達人間と深い関係をもつてゐるといえるだろう。

神戸もまたその例にもれず終戦

からいくとせか過ぎ、ようやく世

情も落ちつきかけた昭和二十八年

秋に神戸大丸で「神戸バラ展」が

ささやかに市内に散在していたバ

ラ愛好者の持ち寄りで開催され

た。それまでは市内や近郊に、小

地域的に同好者のバラ会があつた

が、現在の洋らんや、東洋らんの

ようによまだ高級花とされてい

た。この第一回の神戸バラ展（神

戸市主催）を契機として、その最

右翼であった甲南バラ会を中心と

して神戸バラ協会が誕生し、バラ

も大衆化の仲間入りをすることに

なつた。この協会は神戸の市内や

近郊に居住するバラの愛好者は誰

でも入会でき、全国的な組織をも

つ日本バラ会や朝日バラ会などの

系統にはわざわざれない自由な

立場の協会であり、神戸市の「花

いっぱい運動」の一翼をになう会

でもある。

会長はバラに関して造詣の深か

った故筑紫六郎氏で、それからは

ど中近東や中国で、その地原産の

バラが改良され、やがて文化の発

展とともにエジプトからギリシヤ、ローマにもたらされて今日の隆盛を見るようになった。

あらゆる花の女王として神話や伝説、また詩や物語に織り込まれ



★ある集い

その足あと

バラを愛する

神戸バラ協会

バラの歴史は人類の歴史とともに

にあるといわれている。古代文化

が発達していたイラン、シリアル

など中近東や中国で、その地原産の

バラが改良され、やがて文化の発

展とともにエジプトからギリシ

ヤ、ローマにもたらされて今日の

隆盛を見るようになった。

あらゆる花の女王として神話や

伝説、また詩や物語に織り込まれ

本花、三本花、デコレーションなど

のコンクールのほかに国際港ら

しく十五カ国程度の外人や生花業

者のデコレーションなども出品さ

れ、毎回会員やこれらの人々の協

力によって神戸市との共催で続け

られている。

今年のテーマは開港百年祭記念

「バラは世界を結ぶかけ橋」。

この協会はバラ栽培の普及を目

的としているので、時期をみて接

木、せん定、施肥等の講習会を毎

年繰返し実施して新しくバラ栽培

希望の人々に入門を勧めたり、各

地のバラ栽培地の実地視察をおこ

なつては栽培研究家のつどいをもちたい

ものと考えている。

またこの協会では故筑紫会長の

寄金によつて現在、中山手、本山、

東遊園地などに街頭バラ園を作

り、市民の目を楽しませるととも

に、年に数回開催する前記の栽培

講習会の実習場ともなつてゐる。

現在の会長は筑紫新子さん（故

筑紫会長未亡人）で、副会長は三

名、常任理事および理事約三十名、

会員数二百五十余名。

事務所は神戸市役所土木局内。

—グラビア七頁参照—